

1F 1250t吊クローラークレーンの状況

2025年9月8日



東京電力ホールディングス株式会社

- 2025年6月16日および6月27日に、1号機原子炉建屋を覆う大型カバーの設置作業において、1250t吊クローラークレーン（以下、クレーン）の動作不良を確認。
- 2回の動作不良の原因は、クレーンの油圧系統内に異物が混入したことにより必要な油圧を確保できなかったことと推定。
- 復旧作業は、油圧コントロールユニットの交換、作動油の交換ならびにフラッシングを実施。これによりクレーンは復旧し、現在も運転中。
- 今後は、定期的に行っている作動油フィルター点検で、異物の混入を慎重に確認すること、また、フィルター点検結果により作動油の交換時期を早める。

